

# 安全に関する改善事例

記入日: 2005 年 10 月 5 日

(所属会社)

(氏名)

(連絡先電話番号)

記入者:

ダム名	所在地県名	発注者	型式	ダム諸元		
				堤高(m)	堤頂長(m)	堤体積(千m3)
深城ダム	山梨県	山梨県	G	87.0	164.0	211
設計・施工区分	工種	想定される事故の種類	想定される事故の要因	危険作業の種類	設計変更の有無	
施工	コンクリートダム堤体工 基礎処理工	飛来落下事故 工具取扱	人的・設備	上下・競合	有 : (無)	
改善の概要: 作業間の連絡調整 堤体上流部で堤体工と基礎処理工の上下作業が懸念されたので下図のような上流面図の黒板を作成し、毎日の作業打合せにて作業間の連絡調整を行い、翌日の朝礼時に反映させた。					特許の有無	
					有 : (無)	
メリット: 朝礼時に黒板を使用して、作業員全員に周知徹底できるので、上下作業もなく、特に、下部の作業員は安心して作業に集中できた。			デメリット:			

**改善前** (略図または写真)

- ・当初は基礎処理作業においては、上部からの落下物対策として鋼製屋根のみを使用して作業を行っていた。
- ・作業間調整では黒板(上流面図)なしの打合せであった。

A社 [ 7BL : 打設  
8BL : 型枠・鉄筋

B社 [ 5BL  
9BL ] : 基礎処理

**改善後** (略図または写真)

黒板に当日の作業(他社の作業を含む)を記入して作業員全員に周知させる。

**"黒板(上流面図)"**

1BL 2BL 3BL 4BL 5BL 6BL 7BL 8BL 9BL 10BL

打設 型枠鉄筋 他社(基礎処理)

他社(基礎処理)

基礎処理は、上流フーチングにて施工。  
(カーテングラウチング)